

あなたは大丈夫！？“パスワード疲れ”の実態調査 実はログインできなかった経験がある人が 93.6%！！

SNS の ID/パスワードでは 5.8%が乗っ取り被害者に

ディー・ディー・エス PR 事務局は、20代～50代の男女 400名に向けて、パスワードに関するインターネット調査を実施しました。

近年、私たちの生活において、急速な IT の普及により利便性が追求される反面、個人情報を守るため、情報セキュリティ管理はますます複雑になっています。誰しもが、とっさにパスワードを忘れてしまう“パスワード難民”に陥ったことがあるのではないのでしょうか。また、最近では日常生活でパスワードを持ちすぎて、“パスワード疲れ”を感じているという現象も起こっています。本リリースでは、あなたにも起こりうる“パスワード難民”や“パスワード疲れ”の実態について、調査の結果をお伝えします。

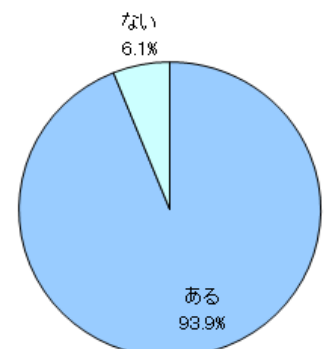
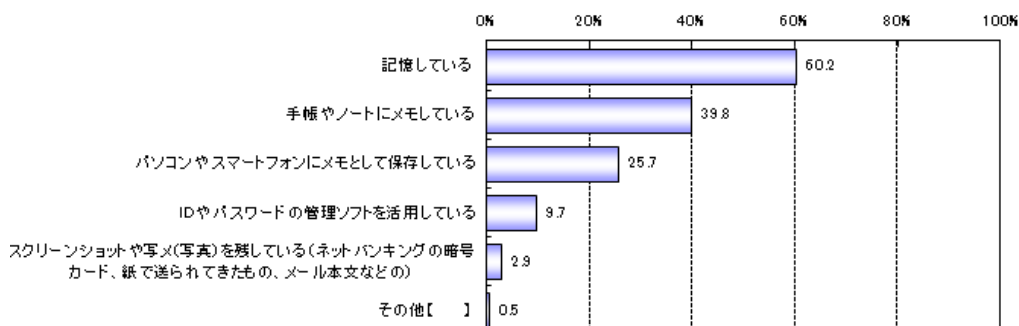
■自分自身の ID/パスワードがわからなくなった経験のある人 93.6%！

～回答者の大多数が“パスワード難民”を経験～

自分自身の ID/パスワードがわからなくなった事のある経験者はなんと 93.6%！！こんなにも多くの人が“パスワード難民”に直面し、悩まされていたことが判明しました。

◆Q ログインの際、ID やパスワードがわからなくなった経験は？

◆Q. ID やパスワードをどのように管理していますか？



■ログインの際のパスワードを煩わしいと感じている人が 92.7%！

～サイト等にログインする際の ID、パスワードはなんと平均 6 個以上！？～

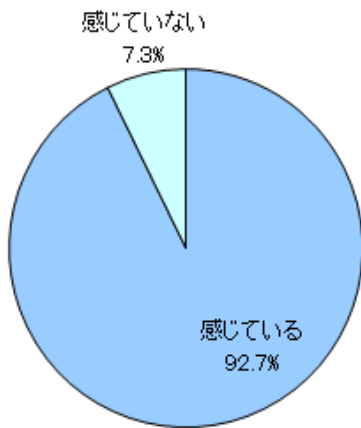
現在のパスワード管理の実態を調査したところ、「記憶している」が 60.2%でした。また、自分の身の回りで一体いくつのパスワードを管理しているのか調査したところ、約 40%の人が 1 人につき平均 6 個以上ものパスワードを管理していることが明らかになりました。これは驚くべき数字です。人間が同時に短

期記憶できる数は約7個（※）とされています。このような状況下ではパスワード難民になり、“パスワード疲れ”するのも仕方ない現状が垣間見えてきました。

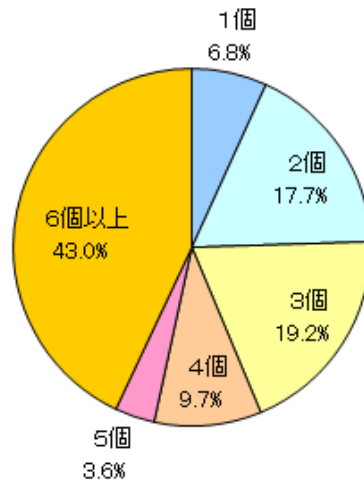
※出典： 心理学者ジョージ・ミラー（アメリカ）

人間が短期記憶できる数は7±2だけということを発見し、これに「マジックナンバー7」という名前がつけられています。

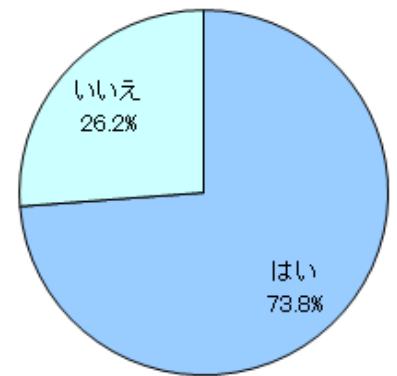
◆Q. ログインの際、ID やパスワードを入力することは面倒だと感じていますか？



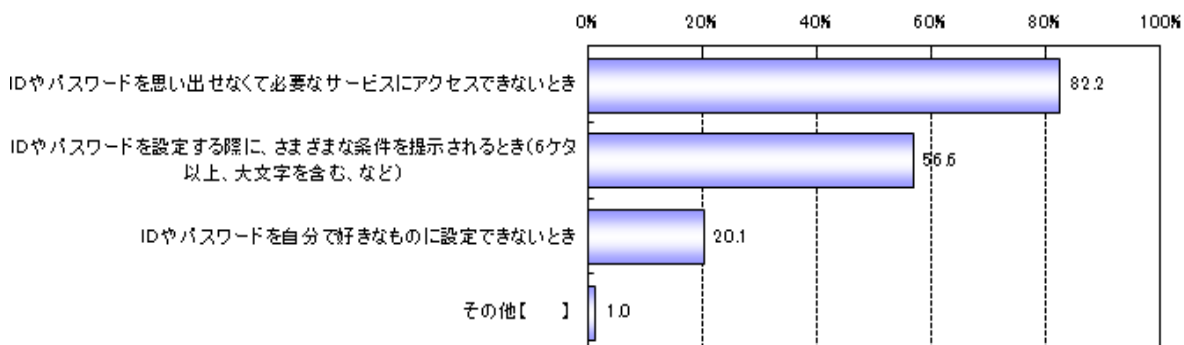
◆Q. サイトやアプリにログインする際のID やパスワードを何個もっていますか？



◆Q. ID やパスワードのログインや管理に「疲れた」と感じることはありますか？



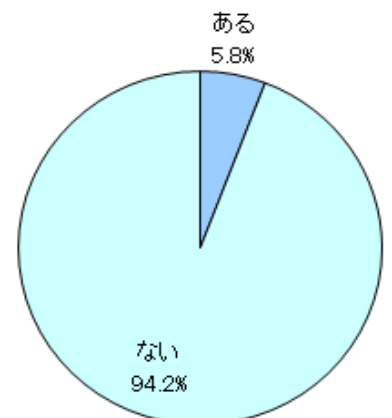
◆Q. ID やパスワードのログインや管理に「疲れた」疲れると感じるのはどのような時ですか？



■ 5.8%が SNS などのサイトでアカウントを乗っ取られた経験アリ！？

ID とパスワードでマイページに入ることについて不安を感じる時代・・・

最近、SNS での乗っ取り被害が頻繁にニュースで取り上げられました。この報道に不安を感じた方も多いのではないのでしょうか。では実際に、どれくらいの方が乗っ取り被害にあったことがあるのでしょうか？今回、調査したところ、5.8%が乗っ取り被害にあっていることが分かりました。情報社会がどんどん便利になっていく一方で、ID とパスワードによる情報管理への不安も高まっています。いざ自分に被害が起こるとパニックになることも少なくないのではないのでしょうか。



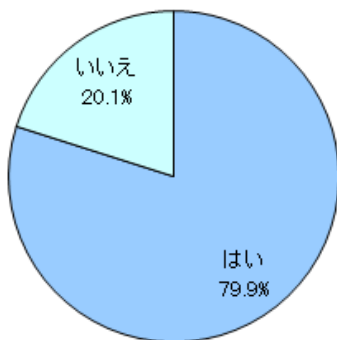
◆Q. SNS (LINE、Twitter、Facebook など) やネットサイトで、アカウント (ID やパスワード) を乗っ取られた経験はありますか？

■ID/パスワードが生体認証となったとしたら？

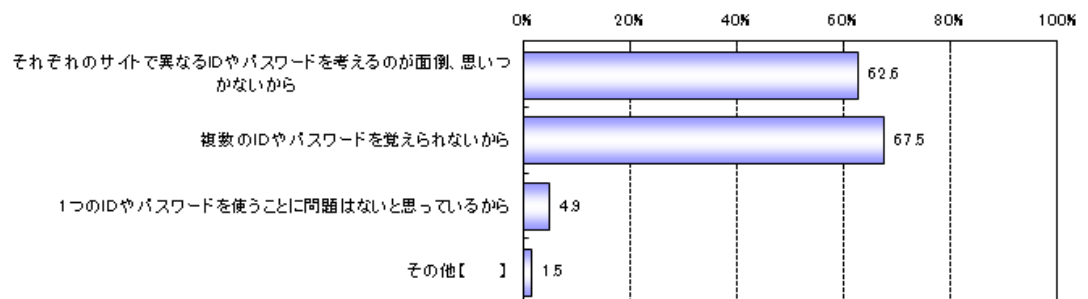
以上の通り、大多数の人がIDとパスワードに対して、“煩わしさ”と“不安”を感じているということが明らかになりました。では今後、セキュリティの新時代はどのように変化していくのでしょうか。その変化の1つに、既に導入も進んでいる「生体認証」があります。

スマートフォンにも当たり前のよう指紋認証システムが搭載されるようになった現在、1人につき平均6個以上のID/パスワードを管理する時代から、生体認証で一括管理できる時代への変革期とも言えるでしょう。

◆Q. あるIDやパスワードを複数のサイトやアプリで使い回していますか？



◆Q. あるIDやパスワードを複数のサイトやアプリで使い回している理由は何ですか？



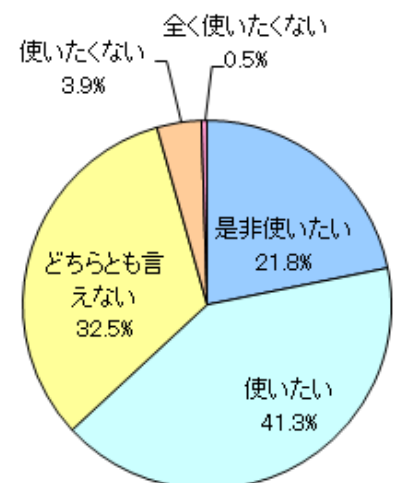
大多数の人は、現在、来るべき時代をどのように感じているのでしょうか？

現状、ある特定のIDやパスワードを使い回している傾向は、約80%の人に見受けられました。理由としては、「異なるパスワードを考えるのが面倒」、「複数のIDやパスワードを覚えられないから」が大半を占めました。

特定のIDやパスワードの使い回しは、今後も非常にリスクを伴います。では今後、生体認証で一括管理し、安全性が担保されるようになったとしたらどうでしょうか？

調査結果から見える答えは約60%の人が使ってみたいと回答しました。私たちが“パスワード難民”から解決される日も近いのかもしれませんが。

◆Q. ログインセキュリティが、指紋や静脈といった生体認証になったとしたら、あなたは使いたいと思いますか？



■ 株式会社ディー・ディー・エス 三吉野 健滋からのコメント

● 調査結果より

これまでに多くのウェブサービスやスマホアプリが供給されていますが、そのほとんどが、本人認証に ID とパスワードを使用しています。調査結果によりますと、多くの方がパスワードを忘れた経験がある、わずらわしいと感じており、結果として必要とするサービスにアクセスできないなど利便性が損なわれている実態が明らかになりました。消費者側だけでなく、企業側にとっても大きな機会損失といえます。



● ID とパスワードの問題について

氾濫する ID とパスワードの問題は、消費者も企業も、そのどちらもが簡単に解決することができないという意味で大変に根深い問題です。ID とパスワードは、顧客管理を企業ごとに行うためにサイトやサービスごとに独立して発行されることから、どこかの会社が一括して管理し一種類の ID とパスワードを一元管理することは決してありません。そのことが、消費者が複数のパスワードを使いこなさなければならない大きな原因となっています。こんなにも困っているユーザが多いにもかかわらず、この問題を根本的に解決してくれるサービスや製品を供給している企業はほとんどないのが現実です。

● 来るべき生体認証の時代

2013 年にアップル社が国内で最も販売数が多いスマホである iPhone 5s に指紋認証機能を搭載しました。サムソン社ギャラクシーをはじめ様々なスマートホンメーカーが追随して搭載機種を販売し始めています。これは、ID とパスワードの代わりに生体認証技術が浸透してくる兆しといえます。今まで誰も解決しえなかったパスワードに関するトラブルやわずらわしさを一挙に解決するインフラの登場といえるかもしれません。指紋認証スマホにより、パスワード疲れを解消しよりよいサービスを楽しむ世界が近い将来実現する可能性が高いでしょう。

※三吉野 健滋への取材、コメント依頼などは、下記 PR 事務局へお問い合わせください。

■ 「パスワード難民 調査」 調査概要

○ 調査対象と回収サンプル数

- ・ 20～50 歳の男女 400 名
- 調査地域 : 全国
- 調査方法 : インターネット調査 (ネット調査会社マクロミルの登録モニター活用)
- 調査期間 : 2015 年 2 月 2 日 (月) ～2 月 3 日 (火)
- 調査実施 : ディー・ディー・エス PR 事務局

※本リリースに含まれる調査結果を掲載いただく際は、『ディー・ディー・エス PR 事務局調べ』とご明記ください。